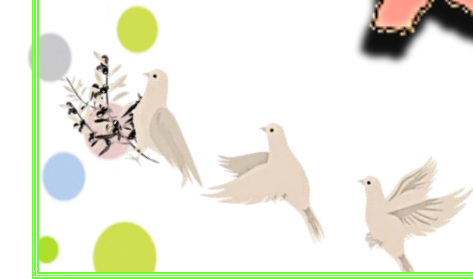
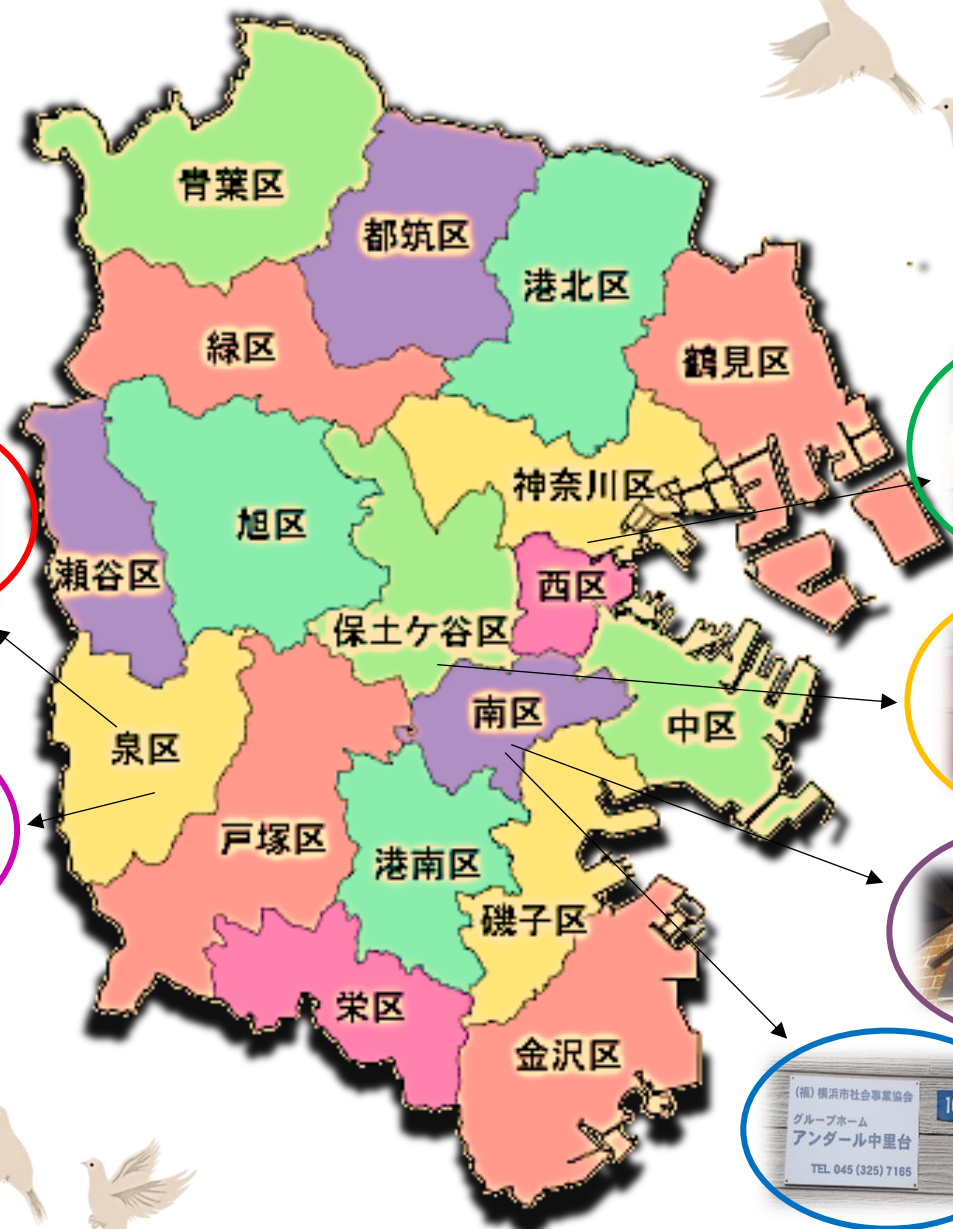


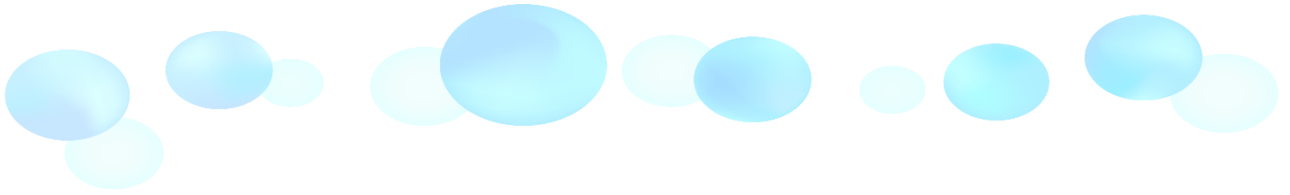
 社会福祉法人 横浜市社会事業協会 機関紙(第27号)

シンフォニー

共同生活援助事業

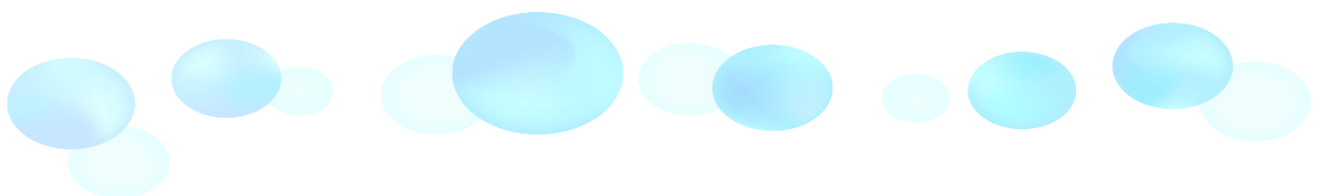
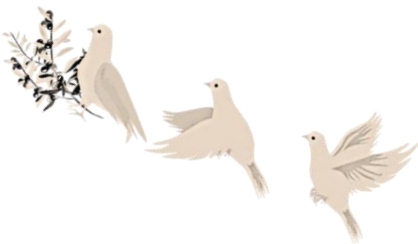
～法人のグループホームを比べてみました。～





もくじ

1. ご挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
2. はじめに/当法人の設立まで・・・・・・・・ P2
3. 事業所開設年表・・・・・・・・・・・・・・・・ P3
4. 各ホームの紹介・・・・・・・・・・・・・・ P4
 - ・ゆい I ~ VII ・サンライズ I・II ・アンダール常盤台
 - ・アンダール中里台 ・すてら縁 ・Crane 神之木
5. 令和 4 年度事業報告・決算書・・・・・・・・ P16
6. 令和 5 年度事業計画・資金収支予算書・・ P20



ご挨拶



社会福祉法人 横浜市社会事業協会
理事長 佐々木 寛志

最近、バス等交通機関やトラック輸送などの人手不足が問題になっています。福祉・介護の世界では、もう何年も前から働き手不足に悩まされてきました。

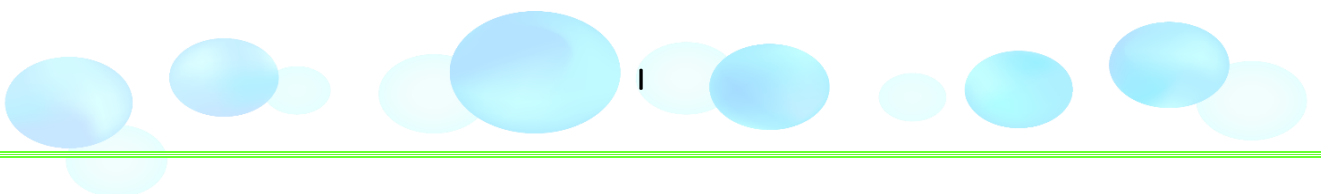
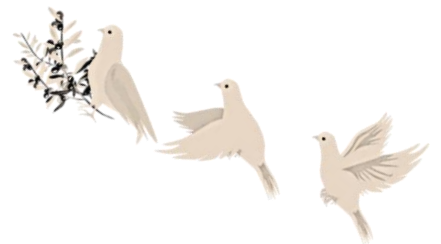
当法人では、いま雇用形態、勤務形態、職種も様々な590人ほどの職員が、20の事業所で働いています。毎年4月には10~20人の新卒者が入り、年度の途中にも専門職を含め10人前後の人たちが職場の仲間に加わります。他方、退職者や休職者もあり、しばしば職員が不足する事態が起こります。その度に求人をするのですが、補充は簡単ではありません。当該事業所と本部事務局が連携して、事業所内や事業所間で人材のやりくりをするなど対策を講じます。当該職場の職員たちも、協力し合ってなんとか頑張るといふことになります。

人手不足の根底には、少子高齢という日本社会全体の問題があるといわれます。法人として、私たちが取り組むことができるのは、「働きやすい職場づくり」「働きがいのある職場づくり」だと考えます。

「働きやすい職場」の条件の一つは、信頼して何事も安心して相談できる同僚・先輩や上司がいること。立場の違いによる壁のない、率直に付き合える人間関係の職場。一言でいえば、風通しの良い職場風土です。また、心身の疲れを癒す休暇が取れたり、余暇などの自分の時間を大切にできる職場。仕事の面では、職員の状況に応じた勤務時間や配置など多様で柔軟な働き方ができる職場。誰かに何かあったときにサポート体制ができるチームワークの良い職場でしょう。

「働きがい」とは、自分の働きが「何かの役に立っている」「誰かに喜んでもらえる」こと。自分が「役に立つ人」「仕事で信頼されている人」と思えること、とも言えます。介護の仕事は、やりがいを実感できる仕事の一つ。仕事を通じて能力・技術をレベルアップしながら、仲間とともに働き、社会人として成長していくことは「働きがい」につながります。もちろん、給与・賞与の報酬、福利厚生などの待遇も働きがいの大事な要素です。法人の支出の約7割は人件費で、収入の大半は公的制度に基づくものなので、資金には限りがありますが、職員の待遇改善は法人として常に心掛けたいと考えています。

良い職場は、職場の皆が互いに尊重し合い、日々の仕事の中で作り出していくもの。現実には厳しいこともありますが、「働きやすい職場」「働きがいのある職場」の実現に努め、ご利用者のためにより良いサービスを提供していきます。



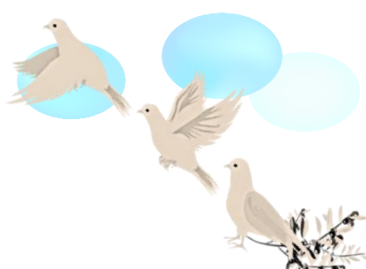
はじめに

社会福祉法人横浜市社会事業協会（以下、当法人）は、昭和21年「横浜市厚生援護会」という名称で設立し、昭和26年に現在の名称「横浜市社会事業協会」となりました。そして、昭和31年に財団法人、昭和56年に社会福祉法人となり、現在に至っております。

その後、当法人は、生活保護法に基づいた更生施設の運営をはじめ、障害者支援施設の運営、地域ケアプラザ、精神障害者生活支援センター、地域支援事業所としてホームヘルプ関連事業所の運営、放課後等デイサービス事業の運営など多岐にわたり事業展開を行ってきました。さまざまな事業展開を行っていく中で、今回シンフォニー機関紙では、開設から21年経過した、グループホームの特集を行います。平成14年に当法人のグループホーム1号が誕生し、現在まで13のグループホームを運営しております。

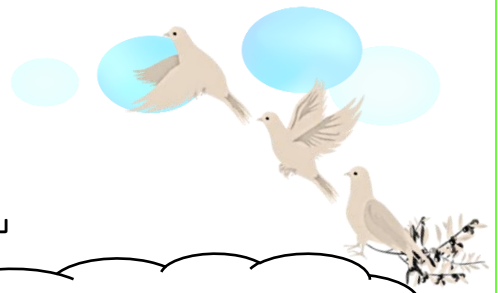
どのようなグループホームがあるのか、紹介をしていきます。

当法人の設立まで



| | |
|----------|--|
| 昭和21年 4月 | 横浜市厚生援護会設立 |
| 昭和23年 4月 | 横浜市民生事業運営委員会と改称 |
| 昭和23年10月 | 「簡易ホステル」（西区高島通、横浜駅前）を横浜市より買収 |
| 昭和24年 3月 | 宿泊施設「横浜中央厚生宿舎」受託経営（横浜市南区中村町3-211） →現在の横浜中央浩生館 |
| 昭和24年 9月 | 無料宿泊施設「水上宿舎」受託経営（中区尾上町柳橋河岸）鉄ハシケ4隻 |
| 昭和24年10月 | 横浜市民生事業協会と改称 |
| 昭和26年 4月 | 横浜市社会事業協会と改称（横浜市社会福祉協議会と業務分離） |
| 昭和29年 8月 | 宿所提供施設「横浜市保土ヶ谷寮」受託経営（保土ヶ谷区川辺町55） |
| 昭和29年 9月 | 「水上宿舎」廃止 |
| 昭和31年 2月 | 財団法人横浜市社会事業協会設立 |
| 昭和38年10月 | 宿泊施設「横浜中央浩生館」受託経営開始 |
| 昭和44年 2月 | 横浜駅前「簡易ホステル」事業停止 |
| 昭和45年 3月 | 横浜駅前「簡易ホステル」借地権と建物一部を首都道路公団に売却 |
| 昭和49年11月 | 「簡易ホステル」用地（借地権）及び建物 横浜駅東口開発公社に売却 |
| 昭和56年 4月 | 社会福祉法人横浜市社会事業協会設立 |

当法人の開設年表



昭和56年

更生施設「横浜中央浩生館」受託経営

昭和58年

身体障害者療護施設「よこはまりバーサイドとつかホーム」
(現：よこはまりバーサイド泉) 設置

グループホーム当法人
第1号誕生

平成5年

横浜市大岡地域ケアプラザ受託経営

平成14年

横浜市箕沢地域ケアプラザ受託経営、**グループホーム「ゆい」設置**

平成15年

横浜市保土ヶ谷区精神障害者生活支援センター受託経営、**グループホーム「ゆいⅡ」設置**

平成17年

グループホーム「ゆいⅢ」、グループホーム「ゆいⅣ」設置

平成19年

グループホーム「ゆいⅤ」設置

平成20年

グループホーム「ゆいⅥ」設置

精神障害者を対象とした
グループホーム設置

平成21年

居宅サポート・リバーサイド泉開設

平成22年

グループホーム「ゆいⅦ」、グループホーム「サンライズ」設置

平成23年

よこはまりバーサイド泉Ⅱ光梨開設

平成24年

横浜市鶴見区精神障害者生活支援センター受託経営

グループホーム「アンダー常盤台」、グループホーム「アンダー中里台」設置

平成25年

就労継続支援A型事業所「アテイン」開設、よこはまりバーサイド泉Ⅲのぞみ・ひまわり開設

平成27年

就労継続支援B型・移行事業所「インカル」開設、**グループホーム「サンライズⅡ」設置**

平成28年

グループホーム「すてら縁」設置

アパートタイプの
グループホーム誕生

平成29年

横浜市多機能型拠点「こまち」開設

平成31年

放課後等デイサービス「たんぼぼ」開設

令和3年

就労継続支援B型事業所「caféTurtle」開設、**グループホーム「Crane 神之木」設置**

令和4年

就労継続支援B型事業所「うるおい南」開設

グループホーム ゆい

●事業所紹介

※グループホーム「ゆい」は、ゆいⅠ～ゆいⅦ（計7ホームあり）

住所：横浜市泉区和泉中央北6丁目3番地13号 ※地域支援事業所「居宅サポート・リバーサイド泉」にて運営

家賃：34,250円～44,250円（補助制度1万円減額あり。） 食事提供：有・無

職員人数：常勤4名、非常勤53名（R5.11.1現在） 夜勤：有・無

●事業所の特徴・強み

身体障害者の方々を主に対象とした共同住宅です。同一法人の居宅介護・訪問介護事業所と一体的に運営していることが特徴であり、強みでもあります。ご利用者のニーズに合ったスケジュール調整が可能です。また、ホームが同一地域に点在しているため、何かあった時は、すぐに職員が駆け付けられる環境にあります。

パートタイム職員は、勤続年数の長い方が多く、経験豊富な人材を確保しており、ご利用者との人間関係が築けております。



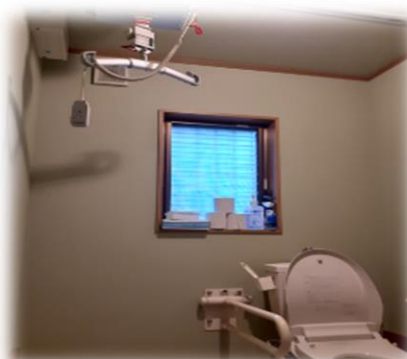
～共用スペースゆいⅡ～

ご利用者の障害特性を考えた住環境

ご利用者の障害特性に配慮した住環境を整えております。ご利用者の障害（麻痺の状況）は一人ひとり異なるため、トイレ内の手すり配置も一つひとつ拘りをもって設置しております。ご利用者が快適に利用できるため、日々工夫をしております。



～ゆいⅡトイレ～



～ゆいⅠトイレ2カ所～

◎立地情報：

- ・相鉄いずみ野線「いずみ中央」駅より徒歩10分圏内
 - ・平屋 バリアフリー構造
 - ・定員
ゆいⅡ、Ⅳ5名、その他4名
- ※男性対象 4ホーム
女性対象 3ホーム

ゆい I ~VII スタイル

◎浴室及び脱衣所：脱衣所から浴室までのリフター設備、脱衣所内にエアコンを完備



～ゆい I 脱衣所から浴室までのリフター設備～



～ゆい I 浴室内～



～ゆい I ランドリー～



↑ゆい I キッチン

※車いすでも使いやすいように
シンク下にスペース



↑ ゆい I 廊下

※車いす 2台がすれ違える広さ



↑ゆい I 洗面所

※洗面台の下に車いすが
入れるスペース



～ゆい I 事務所～

ゆいの現在：

◎ご利用者の年齢層：20代～70代（R5.11.1現在）

◎1か月の自己負担金（目安）：70,000円

◎入居期限：特になし

◎障害支援区分内訳：区分3～6

職員の業務：

◎ご利用者対応：

主に食事提供や通院同行、服薬確認、排泄介助、就寝介助、金銭管理など

※ご利用者のニーズに合わせて対応

◎事務作業：

・業務日誌の作成や確認、記録の整理など

・ヘルパー派遣希望の作成やガイドヘルプで行きたい場所の確認及び企画など

・他事業所との連絡調整など

※主に福祉事業所や医療機関、日中活動先など

◎ホーム内衛生管理：

ホーム内清掃、ホーム内の消毒など

グループホーム サンライズⅠ・Ⅱ

●事業所紹介

住所：横浜市泉区和泉中央北6丁目3番地13号 ※地域支援事業所「居宅サポート・リバーサイド泉」にて運営

家賃：28,000円～41,000円（補助制度1万円減額あり。） 食事提供：有・無

職員人数：常勤2名、非常勤16名（R5.11.1現在） 夜勤：有・無

●事業所の特徴・強み

精神障害者の方々を主に対象とした共同住宅です。

「居宅サポート・リバーサイド泉」で運営しており、グループホーム「ゆい」と同じ組織となります。特に利用の期限はなく、一人ひとりのペースで生活して頂いております。

調理専門のパートタイム職員を配置していることにより、栄養のバランスが取れた食事を提供できることに加えて、夕食の時間を通じて、ご利用者同士や職員とのコミュニケーションの場にもなっております。

グループホームの特性上、一人職場になりがちな環境ですが、グループホームゆいと一体的に運営することで、世話人同士が協力できる環境が整っているところが強みです。

一人暮らしへの移行を見据えたプラン作成

サンライズの特徴は、同一法人の居宅介護・訪問介護の事業所と一体的に運営しているため、ヘルパーを利用しやすい環境であり、買い物同行や通院同行など、実際にご利用される方もおります。さらに、一人暮らしへの移行を見据えたプラン作成を行うことができます。



～共用スペース～
自由にご利用いただけます



～2階廊下～



～対面式のキッチン～

◎立地情報：

- ・市営地下鉄「下飯田」駅より徒歩10分圏内
- ・木造2階建て（戸建て）
- ・定員 サンライズⅠ10名、Ⅱ6名
※いずれも男性対象
※和泉川沿いに面した川と畑に囲まれた閑静な場所。
※駅前の再開発により、近隣に大規模商業施設がR6年8月開業予定。

サンライズ スタイル

◎共同スペース：ランドリー、浴室（2か所）、洗面台（1階、2階それぞれ完備）、トイレ（3ヶ所）



～ランドリースペース～



～浴室～



～洗面所～



～トイレ～

サンライズの現在：

- ◎ご利用者の年齢層：30代～70代（平均50.3歳）
- ◎1か月の自己負担金（目安）：55,000円～70,000円
- ◎入居期限：特になし
- ◎障害支援区分：平均区分2～5
- ◎イベント等：特になし。年2回防災訓練あり



～事務所～



職員の業務：

- ◎ご利用者対応：
在宅ご利用者の支援
※主に通院同行や外出同行、服薬管理、金銭管理など、ご利用者のニーズに合わせて対応
- ◎事務作業：
・業務日誌の作成や確認、記録の整理など
・他事業所との連絡調整など
※福祉事業所や医療機関、日中活動先など
- ◎調理：
調理員を配置
※栄養のバランスが取れた食事提供

グループホーム アンダーラ 常盤台

● 事業所紹介

住所：横浜市保土ヶ谷区常盤台 64-18

家賃：37,166 円（補助制度 1 万円減額あり。） 食事提供：有・**無**

職員人数：常勤 1 名、非常勤 4 名（R5.11.1 現在） 夜勤：有・**無**



～共用スペース～
自由にご利用いただけます

● 事業所の特徴・強み

精神障害者の方々を主に対象とした共同住宅です。
特に利用の期限はなく、一人ひとりのペースで生活して頂いております。
また、一人暮らしに向けた自立支援を行っております。

自立に向けて日常生活（掃除、洗濯、整理整頓、料理など）の支援や通院、服薬に関する見守りや支援、金銭管理についての相談など生活全般の支援を行っております。

単身生活に近い居住空間の提供

閑静な住宅街に囲まれた戸建て住宅です。
常盤台の魅力は、単身生活に近い居住空間を提供するために、各部屋にミニキッチンを設置しているところです。職員と一緒にメニューを考える、職員と一緒に調理を行うことなどが出来ます。ご利用者自身で自炊をする方、宅配のお弁当を注文する方もおります。

とはいえ、戸建てタイプですので、玄関や共用スペースでご利用の方と接する機会も多いグループホームです。



～1階玄関スペース～



～お部屋のキッチン～



～お部屋（空部屋）のイメージ～

◎ 立地情報：

- ・ 相鉄線「上星川」駅より
相鉄バス約 15 分
「ひじりヶ丘」下車 徒歩 3 分
- ・ 木造 2 階建て（戸建て）
- ・ 定員 6 名
（男性：3 名、女性：3 名）

アンダーラ常盤台 スタイル

- ◎共用スペース：ランドリー、浴室（2か所）、洗面台（1階、2階それぞれ完備）、トイレ（2ヶ所）
- ◎居室内の備え付け：IHコンロ、エアコン、照明器具など



～浴室～



～洗濯機～



～洗面所～



～トイレ～

常盤台の現在

- ◎ご利用者の年齢層：40代～50代（最長1名80代）
- ◎ご利用料金（目安）：40,000円
- ◎入居期限：特になし
- ◎障害支援区分：平均区分2～3
- ◎イベント等：特になし。年2回防災訓練あり



～2階廊下～



～事務所～



～2階廊下～

職員の業務：

- ◎ご利用者対応：
 - 在宅ご利用者の支援
 - ※主に通院同行や外出同行、服薬管理、金銭管理など、ご利用者のニーズに合わせて対応
- ◎事務作業：
 - ・業務日誌作成や確認、記録の整理など
 - ・他事業所との連絡調整など
 - ※主に福祉事業所や医療機関、日中活動場所など
- ◎ホーム内衛生管理：
 - ホーム内清掃、消毒など

グループホーム アンダーラ中里台



● 事業所紹介

住所：横浜市南区別所中里台 10-5

家賃：36,142 円（補助制度 1 万円減額あり。） 食事提供：（有）・無

職員人数：常勤 1 名、非常勤 6 名（R5.11.1 現在） 夜勤：（有）・無



～共用スペース～

自由にご利用いただけます

● 事業所の特徴・強み

精神障害者の方々を主に対象とした共同生活住居です。

特に利用の期限はなく、一人ひとりのペースで生活して頂いております。また、一人暮らしに向けた自立支援を行っております。

自立に向けて日常生活（掃除、洗濯、整理整頓、料理など）の支援や通院、服薬に関する見守りや支援、金銭管理についての相談など生活全般の支援を行っております。

アットホームな居住環境

閑静な住宅街に囲まれた戸建て 2 階建て住宅です。

中里台の魅力は、夜勤職員を配置しており、夜間の見守り支援が提供できることです。夜間の緊急時に備え、職員の配置体制を整えております。また、食事については、朝食・夕食を提供し、料理が苦手なご利用者も安心してホーム生活を送ることが出来ます。食事は宅配業者から食材を仕入れ、職員が調理をして提供します。夕食時のご利用者同士や職員とのコミュニケーションは和やかで、アットホームな居住環境となっています。



～1 階玄関～

バリアフリーになっています



～朝食メニュー～



～夕食メニュー～

◎ 立地情報：

- ・京急線「弘明寺」駅より
神奈中バス約 10 分
「別所中里台」下車 徒歩 5 分
- ・木造 2 階建て（戸建て）
- ・定員 7 名（男性のみ）

アンダー中里台 スタイル

- ◎共用スペース：ランドリー、浴室（2か所）、洗面台（1階、2階それぞれ完備）、トイレ（3ヶ所）
- ◎居室内の備え付け：エアコン、カーテン、照明器具など



～ランドリースペース～



～浴室～



～洗面所～



～トイレ～

中里台の現在：

- ◎ご利用者の平均年齢：62歳（R5.11.1現在）
- ◎1か月の自己負担金（目安）：55,000円
- ◎入居期限：特になし
- ◎障害支援区分：平均区分2～3
- ◎イベント等：特になし。年2回防災訓練あり



～キッチン～



～事務所～



～2階廊下～

職員の業務：

- ◎ご利用者対応：
在宅ご利用者の支援
※主に通院同行や外出同行、服薬管理、金銭管理など、ご利用者のニーズに合わせて対応
- ◎事務作業：
・業務日誌の作成や確認、記録の整理など
・他事業所との連絡調整など
※主に福祉事業所や医療機関、日中活動先など
- ◎ホーム内衛生管理：
ホーム内清掃、ホーム内の消毒など
- ◎調理：
栄養のバランスが取れた食事提供
※外部栄養士が考えた献立をもとに調理を行う

グループホーム すてら縁

● 事業所紹介

住所：横浜市南区真金町 1-6-44

家賃：26,000 円（補助制度 1 万円減額あり。） 食事提供：有 無

職員人数：常勤 2 名、非常勤 3 名（R5.11.1 現在） 夜勤 有 無

● 事業所の特徴・強み

精神障害者の方々を主に対象とした共同生活住居です。

アパートタイプのホームであり、より单身生活に向けたイメージ作りがしやすい居住環境が特徴で、家電製品は備え付けております。

自立に向けて日常生活（掃除、洗濯、整理整頓、料理など）の支援や通院、服薬に関する見守りや支援、金銭管理についての相談など生活全般の支援を行っております。

单身生活へのイメージ作り

“ゆくゆくは单身生活をしたいけど、一人で生活するのが不安”
“まだ、自信がなく、困ったときに誰か相談に乗って欲しい” など、様々な悩みを抱えている方がおります。一般的なアパートとほとんど同じ居住環境で、より单身生活に近い環境を提供するとともに、夜勤職員を配置しており、安心な職員体制を確保しています。また、警備会社と契約をしているため、防犯対策も充実しているグループホームです。

家具や家電も備え付けのため、入居する際に特別な準備は必要ありません。ご利用者自身のペースで、お部屋作りをすることができます。

すてら縁の魅力は、ホームの立地条件が良いところです。公共機関のアクセスが良く、商店街やスーパーなど買い物するのに便利です。また、日勤は職員を複数名配置することで、ご利用者も安心して生活を送ることが出来ます。



～共用スペース～

自由にご利用いただけます



～共用スペース～

◎立地情報：

- ・市営地下鉄線「阪東橋」駅
徒歩 10 分
- ・京急線「黄金町」駅
徒歩 15 分
- ・木造 3 階建て 1K タイプ

※ホーム周辺には、コンビニやスーパー、商店街など、食材の購入や日用品類の購入には便利な立地条件！！

すてら縁 スタイル

◎設備：木造3階建て/ワンルームタイプ（バス、トイレ別）

◎居室内の備え付け：家具家電付き（収納付きベッド、冷蔵庫、洗濯機、電子レンジなど
モニター付きインターホン、エアコン、IH（1口）コンロ付きなど



～浴室～



～トイレ～



～共用スペース～
キッチン



～事務所～

すてら縁の現在：

◎ご利用者の年齢層：20代～60代（R5.11.1現在）

◎ご利用料金（目安）：90,000円～100,000円

◎入居期限：2～3年（延長可）

◎障害支援区分：平均区分2～3

◎イベント等：特になし。年2回の防災訓練あり



～事務所～

職員の業務：

◎ご利用者対応：

在宅ご利用者の支援

※主に通院同行や外出同行、居室内確認、服薬確認、金銭確認、相談支援など

◎事務作業：

- ・日誌作成、電話対応など
- ・他事業所との連絡調整など

◎ホーム内衛生管理：

施設内消毒、清掃作業など

グループホーム Crane 神之木

● 事業所紹介

住所：横浜市神奈川区神之木町9番5号

家賃：46,250円（補助制度1万円減額あり。） 食事提供：有 無

職員人数：常勤1名、非常勤8名（R5.11.1現在） 夜勤 有 無



～共用スペース～

自由にご利用いただけます

● 事業所の特徴・強み

精神障害者の方を対象とした共同生活住居です。

アパートタイプのグループホームで、单身生活に向けたイメージ作りがしやすい環境が特徴です。

自立に向けて、单身生活に必要な生活スキル（掃除洗濯、食事、金銭管理等）のサポートや同行、服薬確認の見守りなど生活全般の支援を行っております。また、月1回以上の面談を行い、コミュニケーションをとりながらご利用者ご自身の目指す生活を応援していきます。



～共用スペース洗面/トイレ～

单身生活に近いスタイル

一般的なアパートとほぼ同じ居住環境で、より单身生活に近い生活環境が整っております。入居時から生活に必要なものをご自身で一から揃えていただく（家電等）など、より実践的な形で体験いただけます。また、夜間帯は職員も常駐しており、安心した環境も提供しております。

神之木の魅力は、ホームの立地条件が良いところ。駅から徒歩5分ほどの場所にあることや、スーパーや薬局などが近くにあり、必要な生活用品がすぐに揃います。



～共用スペース～



～居室～



◎立地情報：

JR 横浜線「大口」駅 徒歩5分

木造3階建てIKタイプ

2階、3階グループホーム

（1階同一法人 就労継続支援事業所）

Crane 神之木 スタイル

◎設備：木造3階建て/ワンルームタイプ広さ19.4㎡（バス、トイレ別）、Wi-Fi設備あり

◎居室内の備え付け：独立洗面台付き、モニター付きインターホン、エアコン、IH（1口）コンロ付きなど



～IHキッチン～



～浴室～



～洗面所～



～トイレ～

神之木の現在：

◎男女比：男性4名 女性5名（R5.11.1現在）※空室1部屋

◎ご利用料金（目安）：75,000円

◎入居期限：2年間（延長も可能）

◎障害支援区分：平均区分2～3

◎イベント等：月1回程度。ご利用者の参加を募り、イベント実施
→お話し会、お散歩会、クリスマス会など



～共用スペース～



～事務所～

職員の業務：

◎ご利用者対応：

在宅ご利用者の支援

※主に通院同行や外出同行、服薬管理など、ご利用者のニーズに合わせて対応

◎事務作業：

・業務日誌の作成や確認、記録の整理など

・他事業所との連絡調整など

※主に福祉事業所や医療機関、日中活動先など

◎ホーム内衛生管理：

ホーム内清掃、ホーム内の消毒など

令和 4 年度事業報告・決算書

令和 4 年度事業報告（抜粋）

重点目標に対する達成状況

(ア) 職員一人ひとりが働きやすい職場環境の構築

① 職員の心身のリフレッシュの機会を増やすため夏季休暇制度を新設、令和 4 年度より運用を開始した。

※付与日数 3 日間（週所定労働日が 5 日の職員の場合）

② 職員の永年勤続者を対象としたリフレッシュ休暇制度を新設、令和 4 年度より運用を開始した。

※付与日数 20 日間（勤続 30 年の場合）

③ 育児・介護休業法改正に基づき、出生時育児休業制度（産後パパ育休）を導入、令和 4 年 10 月より運用を開始した。

(イ) 法人本部の機能強化

① 本部事務局の経理部門を拡充し、事業所で分散実施している経理業務を集約するため、令和 4 年度は、よこはまりバーサイド泉、横浜市保土ヶ谷区精神障害者生活支援センターの経理事務を本部事務局に移管した。

② 本部事務局の事務所の移転・増床は見送ったが、一部テレワークによる交代勤務を導入し、限られた事務スペースを効率的に使用できる環境を整えた。

(ウ) ガバナンスの強化

① 公益通報者保護法改正に基づき、内部通報制度を導入した。制度に基づく通報が 3 件、相談が 1 件寄せられた。

② 昨年度に組織したプロジェクトチームの提言に基づき、行動指針・倫理綱領の改定を行った。

(エ) 職員採用・定着支援の強化

① 職員採用では、目標の 12 人を大きく上回る 27 人の新卒者の採用に至った。特に、今年度より本格的に取り組んだ高卒採用は、3 人の新卒者を採用することができた。

② 社会福祉士等養成校からの実習生受け入れを積極的に行った結果、受け入れた実習生のうち 2 人が採用に結びついた。

③ 新卒の新採用職員に対しては、定期的な面接及び 2 カ月に一度の集合研修を実施、きめ細やかな定着支援を行った。

(オ) 健康経営の推進

昨年度に引き続き、よこはまウォーキングポイントに事業所単位で参加し、歩くことによる健康づくりを勧奨した。

法人単位資金収支計算書

(自) 令和4年4月1日 (至) 令和5年3月31日

(単位：円)

| 勘定科目 | | 予算(A) | 決算(B) | 差異(A)-(B) | |
|------------------------|---------------------------------|-----------------|---------------|---------------|-------------|
| 事業活動による収支 | 収入 | | | | |
| | 0165 介護保険事業収入 | 249,496,000 | 232,935,869 | 16,560,131 | |
| | 0274 指定管理料収入 | 407,495,000 | 351,974,499 | 55,520,501 | |
| | 0183 就労支援事業収入 | 26,440,000 | 33,354,404 | -6,914,404 | |
| | 0184 障害福祉サービス等事業収入 | 1,937,149,000 | 1,843,812,557 | 93,336,443 | |
| | 0188 生活保護事業収入 | 16,500,000 | 12,150,621 | 4,349,379 | |
| | 0192 医療事業収入 | 83,625,000 | 66,339,862 | 17,285,138 | |
| | 0195 その他の事業収入 | 600,000 | 595,550 | 4,450 | |
| | 0200 受取利息配当金収入 | 2,156,120 | 1,861,732 | 294,388 | |
| | 0201 その他の収入 | 14,276,000 | 38,167,754 | -23,891,754 | |
| | 事業活動収入計(1) | 2,737,737,120 | 2,581,192,848 | 156,544,272 | |
| 支出 | 0129 人件費支出 | 1,971,397,000 | 1,846,130,973 | 125,266,027 | |
| | 0130 事業費支出 | 211,501,000 | 209,227,555 | 2,273,445 | |
| | 0131 事務費支出 | 375,833,000 | 376,604,683 | -771,683 | |
| | 0132 就労支援事業支出 | 41,200,000 | 45,256,582 | -4,056,582 | |
| | 0135 その他の支出 | 294,000 | 1,008,000 | -714,000 | |
| | 0137 支払利息支出 | 506,000 | 515,505 | -9,505 | |
| | 0138 その他の支出 | 9,968,000 | 9,173,313 | 794,687 | |
| | | 事業活動支出計(2) | 2,610,699,000 | 2,487,916,611 | 122,782,389 |
| | 事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2) | 127,038,120 | 93,276,237 | 33,761,883 | |
| 施設整備等による収支 | 収入 | | | | |
| | 0204 施設整備等補助金収入 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | |
| | 0207 固定資産売却収入 | 0 | 2,987,870 | -2,987,870 | |
| | | 施設整備等収入計(4) | 1,000,000 | 3,987,870 | -2,987,870 |
| | 支出 | | | | |
| | 0143 設備資金借入金元金償還支出 | 7,520,000 | 7,520,000 | 0 | |
| 0144 固定資産取得支出 | 25,345,000 | 29,350,955 | -4,005,955 | | |
| 0145 固定資産除却・廃棄支出 | 200,000 | 0 | 200,000 | | |
| 0146 ファイナンス・リース債務の返済支出 | 39,552,000 | 39,340,707 | 211,293 | | |
| | 施設整備等支出計(5) | 72,617,000 | 76,211,662 | -3,594,662 | |
| | 施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5) | -71,617,000 | -72,223,792 | 606,792 | |
| その他の活動による収支 | 収入 | | | | |
| | 0214 積立資産取崩収入 | 33,400,000 | 39,554,586 | -6,154,586 | |
| | 0222 拠点区分間繰入金収入 | 167,581,000 | 0 | 167,581,000 | |
| | 0223 サービス区分間繰入金収入 | 100,000 | 0 | 100,000 | |
| | | その他の活動による収入計(7) | 201,081,000 | 39,554,586 | 161,526,414 |
| | 支出 | | | | |
| | 0149 長期運営資金借入金元金償還支出 | 30,949,000 | 30,949,000 | 0 | |
| | 0152 積立資産支出 | 29,204,000 | 33,822,721 | -4,618,721 | |
| | 0160 拠点区分間繰入金支出 | 5,810,000 | 0 | 5,810,000 | |
| | 0161 サービス区分間繰入金支出 | 4,778,000 | 0 | 4,778,000 | |
| | その他の活動支出計(8) | 70,741,000 | 64,771,721 | 5,969,279 | |
| | その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8) | 130,340,000 | -25,217,135 | 155,557,135 | |
| | 予備費支出(10) | 0 | — | 0 | |
| | | 0 | | | |
| | 当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10) | 185,761,120 | -4,164,690 | 189,925,810 | |
| | 前期末支払資金残高(12) | 0 | 865,240,092 | -865,240,092 | |
| | 当期末支払資金残高(11)+(12) | 185,761,120 | 861,075,402 | -675,314,282 | |

法人単位事業活動計算書

(自) 令和4年4月1日 (至) 令和5年3月31日

(単位：円)

| 勘定科目 | | 当年度決算(A) | 前年度決算(B) | 増減(A)-(B) |
|-----------------------------|------------------------------------|---------------|---------------|-------------|
| サービス活動増減の部 | 収益 | | | |
| | 0056 介護保険事業収益 | 232,935,869 | 229,480,665 | 3,455,204 |
| | 0256 指定管理料収益 | 351,974,499 | 355,293,781 | -3,319,282 |
| | 0074 就労支援事業収益 | 33,354,404 | 16,220,708 | 17,133,696 |
| | 0075 障害福祉サービス等事業収益 | 1,843,812,557 | 1,796,413,661 | 47,398,896 |
| | 0079 生活保護事業収益 | 12,150,621 | 13,484,317 | -1,333,696 |
| | 0083 医療事業収益 | 66,339,862 | 61,626,955 | 4,712,907 |
| | 0086 その他の事業収益 | 595,550 | 449,050 | 146,500 |
| | 0089 経常経費寄附金収益 | 0 | 40,000 | -40,000 |
| | サービス活動収益計(1) | 2,541,163,362 | 2,473,009,137 | 68,154,225 |
| | 費用 | | | |
| | 0015 人件費 | 1,868,822,594 | 1,742,100,507 | 126,722,087 |
| | 0016 事業費 | 209,228,891 | 197,495,249 | 11,733,642 |
| | 0017 事務費 | 376,604,683 | 367,790,846 | 8,813,837 |
| 0018 就労支援事業費用 | 45,256,582 | 29,302,513 | 15,954,069 | |
| 0027 減価償却費 | 119,139,080 | 111,416,177 | 7,722,903 | |
| 0028 国庫補助金等特別積立金取崩額 | -41,478,514 | -28,178,853 | -13,299,661 | |
| サービス活動費用計(2) | 2,577,573,316 | 2,419,926,439 | 157,646,877 | |
| サービス活動増減差額(3)=(1)-(2) | -36,409,954 | 53,082,698 | -89,492,652 | |
| サービス活動外増減の部 | 収益 | | | |
| | 0093 受取利息配当金収益 | 1,861,732 | 1,834,099 | 27,633 |
| | 0098 その他のサービス活動外収益 | 38,167,754 | 19,202,423 | 18,965,331 |
| | サービス活動外収益計(4) | 40,029,486 | 21,036,522 | 18,992,964 |
| | 費用 | | | |
| | 0033 支払利息 | 515,505 | 770,433 | -254,928 |
| | 0038 その他のサービス活動外費用 | 9,173,313 | 7,228,132 | 1,945,181 |
| | サービス活動外費用計(5) | 9,688,818 | 7,998,565 | 1,690,253 |
| | サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5) | 30,340,668 | 13,037,957 | 17,302,711 |
| | 経常増減差額(7)=(3)+(6) | -6,069,286 | 66,120,655 | -72,189,941 |
| 特別増減の部 | 収益 | | | |
| | 0100 施設整備等補助金収益 | 1,000,000 | 5,600,000 | -4,600,000 |
| | 0103 固定資産受贈額 | 2,080,000 | 0 | 2,080,000 |
| | 0104 固定資産売却益 | 228,520 | 30,000 | 198,520 |
| | 特別収益計(8) | 3,308,520 | 5,630,000 | -2,321,480 |
| | 費用 | | | |
| | 0042 固定資産売却損・処分損 | 44,958 | 6 | 44,952 |
| | 0044 国庫補助金等特別積立金積立額 | 1,000,000 | 5,600,000 | -4,600,000 |
| | 特別費用計(9) | 1,044,958 | 5,600,006 | -4,555,048 |
| | 特別増減差額(10)=(8)-(9) | 2,263,562 | 29,994 | 2,233,568 |
| 税引前当期活動増減差額(11)=(7)+(10) | -3,805,724 | 66,150,649 | -69,956,373 | |
| 法人税、住民税及び事業税(12) | 0 | 0 | 0 | |
| 法人税等調整額(13) | 0 | 0 | 0 | |
| 当期活動増減差額(14)=(11)-(12)-(13) | -3,805,724 | 66,150,649 | -69,956,373 | |
| 繰越活動増減差額の部 | 前期繰越活動増減差額(15) | 795,399,514 | 732,793,877 | 62,605,637 |
| | 当期末繰越活動増減差額(16)=(14)+(15) | 791,593,790 | 798,944,526 | -7,350,736 |
| | 基本金取崩額(17) | 0 | 0 | 0 |
| | その他の積立金取崩額(18) | 33,400,000 | 495,000 | 32,905,000 |
| | その他の積立金積立額(19) | 11,240,014 | 4,040,012 | 7,200,002 |
| | 次期繰越活動増減差額(20)=(16)+(17)+(18)-(19) | 813,753,776 | 795,399,514 | 18,354,262 |

法人単位貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

| 資 産 の 部 | | | |
|------------------------|---------------|---------------|-------------|
| | 当年度末 | 前年度末 | 増 減 |
| 0001 流動資産 | 952,356,656 | 962,816,550 | -10,459,894 |
| 1111 現金預金 | 581,253,770 | 594,854,611 | -13,600,841 |
| 1131 事業未収金 | 361,947,020 | 351,623,038 | 10,323,982 |
| 1143 診療・療養費等材料 | 196,469 | 197,805 | -1,336 |
| 1161 立替金 | 357,181 | 7,354,008 | -6,996,827 |
| 1162 前払金 | 8,602,216 | 8,404,822 | 197,394 |
| 1181 仮払金 | 0 | 382,266 | -382,266 |
| 0002 固定資産 | 1,530,950,724 | 1,579,732,275 | -48,781,551 |
| 0003 基本財産 | 684,742,631 | 733,267,106 | -48,524,475 |
| 1212 建物 | 584,742,631 | 633,267,106 | -48,524,475 |
| 1221 定期預金 | 831,233 | 831,233 | 0 |
| 1222 投資有価証券 | 99,168,767 | 99,168,767 | 0 |
| 0004 その他の固定資産 | 846,208,093 | 846,465,169 | -257,076 |
| 1312 建物 | 12,172,901 | 13,752,368 | -1,579,467 |
| 1313 構築物 | 1,891,756 | 2,208,903 | -317,147 |
| 1314 機械及び装置 | 26,143,709 | 22,028,341 | 4,115,368 |
| 1315 車輛運搬具 | 3,029,779 | 21 | 3,029,758 |
| 1316 器具及び備品 | 51,873,815 | 59,374,895 | -7,501,080 |
| 1319 有形リース資産 | 76,406,400 | 71,362,580 | 5,043,820 |
| 1321 権利 | 8,215,974 | 8,357,076 | -141,102 |
| 1322 ソフトウェア | 5,065,695 | 6,349,298 | -1,283,603 |
| 1323 無形リース資産 | 25,066,469 | 22,248,406 | 2,818,063 |
| 1329 退職給付引当資産 | 174,853,050 | 157,134,750 | 17,718,300 |
| 1330 措置施設繰越特定積立資産 | 0 | 33,400,000 | -33,400,000 |
| 1348 移行時特別積立資産 | 37,899,221 | 37,899,221 | 0 |
| 1349 その他の積立資産 | 14,400,000 | 3,600,000 | 10,800,000 |
| 1350 介護施設等積立資産 | 5,347,395 | 5,107,395 | 240,000 |
| 1351 施設整備等積立資産 | 400,091,476 | 399,891,462 | 200,014 |
| 1341 その他の固定資産 | 3,750,453 | 3,750,453 | 0 |
| 資産の部合計 | 2,483,307,380 | 2,542,548,825 | -59,241,445 |
| 負 債 の 部 | | | |
| | 当年度末 | 前年度末 | 増 減 |
| 0006 流動負債 | 253,903,031 | 250,518,721 | 3,384,310 |
| 2112 事業未払金 | 48,583,994 | 62,978,321 | -14,394,327 |
| 2122 1年以内返済予定設備資金借入金 | 5,520,000 | 5,520,000 | 0 |
| 2123 1年以内返済予定長期運営資金借入金 | 22,800,000 | 30,949,000 | -8,149,000 |
| 2124 1年以内返済予定リース債務 | 35,390,246 | 23,696,568 | 11,693,678 |
| 2129 1年以内支払予定長期未払金 | 1,008,000 | 1,008,000 | 0 |
| 2131 未払費用 | 3,519,926 | 2,714,188 | 805,738 |
| 2132 預り金 | 515,166 | 286,021 | 229,145 |
| 2133 職員預り金 | 34,716,923 | 31,386,216 | 3,330,707 |
| 2151 仮受金 | 3,748,776 | 13,907 | 3,734,869 |
| 2152 賞与引当金 | 98,100,000 | 91,966,500 | 6,133,500 |
| 0007 固定負債 | 353,114,985 | 371,456,502 | -18,341,517 |
| 2311 設備資金借入金 | 96,540,000 | 104,060,000 | -7,520,000 |
| 2312 長期運営資金借入金 | 17,000,000 | 39,800,000 | -22,800,000 |
| 2313 リース債務 | 63,385,935 | 68,247,752 | -4,861,817 |
| 2321 退職給付引当金 | 174,853,050 | 157,134,750 | 17,718,300 |
| 2322 長期未払金 | 336,000 | 1,344,000 | -1,008,000 |
| 2323 長期預り金 | 1,000,000 | 870,000 | 130,000 |
| 負債の部合計 | 607,018,016 | 621,975,223 | -14,957,207 |
| 純 資 産 の 部 | | | |
| 0009 基本金 | 194,327,380 | 194,327,380 | 0 |
| 3111 基本金 | 194,327,380 | 194,327,380 | 0 |
| 0010 国庫補助金等特別積立金 | 410,470,116 | 450,948,630 | -40,478,514 |
| 3211 国庫補助金等特別積立金 | 410,470,116 | 450,948,630 | -40,478,514 |
| 0011 その他の積立金 | 457,738,092 | 479,898,078 | -22,159,986 |
| 3221 その他の積立金 | 14,400,000 | 3,600,000 | 10,800,000 |
| 3222 移行時特別積立金 | 37,899,221 | 37,899,221 | 0 |
| 3223 人件費積立金 | 0 | 33,400,000 | -33,400,000 |
| 3226 介護施設等積立金 | 5,347,395 | 5,107,395 | 240,000 |
| 3227 施設整備等積立金 | 400,091,476 | 399,891,462 | 200,014 |
| 0012 次期繰越活動増減差額 | 813,753,776 | 795,399,514 | 18,354,262 |
| 3311 次期繰越活動増減差額 | 813,753,776 | 795,399,514 | 18,354,262 |
| 3312 (うち当期活動増減差額) | -3,805,724 | 66,150,649 | -69,956,373 |
| 純資産の部合計 | 1,876,289,364 | 1,920,573,602 | -44,284,238 |
| 負債及び純資産の部合計 | 2,483,307,380 | 2,542,548,825 | -59,241,445 |

令和 5 年度事業計画・資金収支予算書

令和 5 年度事業計画（抜粋）

| 基本方針 |
|--|
| 令和 5 年度は、法人新 10 年プランの 4 年目になる。新 10 年プランで示されている 4 つの柱「安全、安心で快適なサービスの提供」「地域への貢献、福祉ニーズへの対応」「経営の安定とサービスの向上」「人材の育成、働きやすい職場づくり」に即して、必要な対応を行う。 |
| 重点目標 |
| (ア) 職員一人ひとりが働きやすい職場環境の構築 (イ) 法人本部の機能強化 (ウ) コンプライアンス経営の強化 (エ) 職員採用・定着支援の強化 (オ) 健康経営の推進 |
| 目標達成のための対応策 |
| (ア) 職員一人ひとりが働きやすい職場環境の構築 ① 職員の心身のリフレッシュの機会を増やすため、昨年度導入した夏季休暇・リフレッシュ休暇の制度定着を図る。 ② 出生時育児休業制度（産後パパ育休）の制度利用促進に向けた取り組みを行う。 (イ) 本部事務局の機能強化 本部事務局の経理部門を拡充し、事業所で分散実施している経理業務を集約する。令和 5 年度は、居宅サポート・リバーサイド泉、グループホームゆい、グループホームサンライズの経理事務を本部事務局に移管する。 (ウ) コンプライアンス経営の強化 ① 昨年度整備した内部通報制度が適切に機能するよう、職員への制度周知を進める。 ② 管理監督職員層に対して、コンプライアンス経営推進のための教育機会を強化する。 (エ) 職員採用・定着支援の強化 ① 採用活動及び職員定着に向けた諸活動を行う。特に新卒の新採用職員に対しては、定期的な面接、研修機会の設定により、きめ細やかな定着支援を行う。 ② 高校卒採用のために、高校訪問を強化する。 ③ 社会福祉士等を養成する大学・専門学校からの実習生受け入れを積極的に行い、大学・専門学校との連携を強化する。 (オ) 健康経営の推進 ① 昨年度に引き続き、よこはまウォーキングポイントに事業所単位で参加し、歩くことによる健康づくりを勧奨する。 ② 泉区駅伝大会参加など、スポーツによる健康づくりを勧奨する。 ③ 心の健康づくりについて、職員のサポートを行う。 |

資金収支次期当初予算

令和5年4月1日

(単位：円)

| 勘定科目 | | 前年度予算額 | 当初予算額 | 増減 | |
|-------------|---------------------------------|-------------------------|---------------|---------------|--------------|
| 事業活動による収入 | 0165 介護保険事業収入 | 249,496,000 | 250,661,000 | 1,165,000 | |
| | 0274 指定管理料収入 | 407,495,000 | 252,333,000 | -155,162,000 | |
| | 0183 就労支援事業収入 | 41,519,000 | 55,528,000 | 14,009,000 | |
| | 0184 障害福祉サービス等事業収入 | 1,936,401,000 | 1,967,816,000 | 31,415,000 | |
| | 0188 生活保護事業収入 | 12,700,000 | 161,010,000 | 148,310,000 | |
| | 0192 医療事業収入 | 83,625,000 | 93,171,000 | 9,546,000 | |
| | 0195 その他の事業収入 | 600,000 | 600,000 | 0 | |
| | 0200 受取利息配当金収入 | 2,156,120 | 2,185,120 | 29,000 | |
| | 0201 その他の収入 | 14,176,000 | 14,402,000 | 226,000 | |
| | | 事業活動収入計(1) | 2,748,168,120 | 2,797,706,120 | 49,538,000 |
| 事業活動による支出 | 0129 人件費支出 | 1,971,397,000 | 1,964,331,000 | -7,066,000 | |
| | 0130 事業費支出 | 211,451,000 | 223,986,000 | 12,535,000 | |
| | 0131 事務費支出 | 397,379,000 | 412,420,000 | 15,041,000 | |
| | 0132 就労支援事業支出 | 41,200,000 | 52,800,000 | 11,600,000 | |
| | 0135 その他の支出 | 294,000 | 1,258,000 | 964,000 | |
| | 0137 支払利息支出 | 506,000 | 380,000 | -126,000 | |
| | 0138 その他の支出 | 9,968,000 | 4,496,000 | -5,472,000 | |
| | | 事業活動支出計(2) | 2,632,195,000 | 2,659,671,000 | 27,476,000 |
| | 事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2) | 115,973,120 | 138,035,120 | 22,062,000 | |
| 施設整備等による収入 | 0204 施設整備等補助金収入 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | |
| | | 施設整備等収入計(4) | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 |
| | 施設整備等による支出 | 0143 設備資金借入金元金償還支出 | 7,520,000 | 7,520,000 | 0 |
| | | 0144 固定資産取得支出 | 25,345,000 | 17,204,000 | -8,141,000 |
| | | 0145 固定資産除却・廃棄支出 | 200,000 | 100,000 | -100,000 |
| | | 0146 ファイナンス・リース債務の返済支出 | 39,552,000 | 40,782,000 | 1,230,000 |
| | 施設整備等支出計(5) | 72,617,000 | 65,606,000 | -7,011,000 | |
| | 施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5) | -71,617,000 | -64,606,000 | 7,011,000 | |
| その他の活動による収入 | 0214 積立資産取崩収入 | 33,400,000 | 130,000 | -33,270,000 | |
| | 0216 拠点区分間長期借入金収入 | 14,000,000 | 5,500,000 | -8,500,000 | |
| | 0221 事業区分間繰入金収入 | 2,871,000 | 0 | -2,871,000 | |
| | 0222 拠点区分間繰入金収入 | 250,201,000 | 0 | -250,201,000 | |
| | 0223 サービス区分間繰入金収入 | 18,908,000 | 0 | -18,908,000 | |
| | | その他の活動による収入計(7) | 319,380,000 | 5,710,000 | -313,670,000 |
| | その他の活動による支出 | 0149 長期運営資金借入金元金償還支出 | 30,949,000 | 20,900,000 | -10,049,000 |
| | | 0152 積立資産支出 | 29,204,000 | 30,580,000 | 1,376,000 |
| | | 0154 拠点区分間長期貸付金支出 | 14,000,000 | 5,500,000 | -8,500,000 |
| | | 0159 事業区分間繰入金支出 | 2,871,000 | 0 | -2,871,000 |
| | | 0160 拠点区分間繰入金支出 | 250,201,000 | 0 | -250,201,000 |
| | | 0161 サービス区分間繰入金支出 | 19,008,000 | 0 | -19,008,000 |
| | | | その他の活動支出計(8) | 346,233,000 | 56,980,000 |
| | | その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8) | -26,853,000 | -51,270,000 | -24,417,000 |
| | 予備費支出(10) | 0 | 0 | 0 | |
| | 当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10) | 17,503,120 | 22,159,120 | 4,656,000 | |
| | 前期末支払資金残高(12) | 0 | 0 | 0 | |
| | 当期末支払資金残高(11)+(12) | 17,503,120 | 22,159,120 | 4,656,000 | |

ご利用者一人ひとりが望む生活を実現できるように、
幅広くサービス提供を行い、ご利用者一人ひとりの想いを大切に、
ご利用者の望む生活実現のため、お手伝いをさせて頂いております。



シンフォニー第 27 号 令和6年3月1日発行

発行元/社会福祉法人 横浜市社会事業協会 本部事務局

横浜市泉区中田東 3-15-2 中田町センタービル 202

印刷/就労支援継続 A 型事業 アテイン

